

栗駒山の火山活動解説資料（平成 22 年 7 月）

仙台管区气象台
火山監視・情報センター

火山活動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。
平成 19 年 12 月 1 日に噴火予報（平常）を発表しました。その後、予報警報事項に変更はありません。

○ 活動概況

・噴気など表面現象の状況（図 1）

大柳（山頂の南東約 20km）に設置してある遠望カメラでは、噴気は観測されませんでした。

・地震や微動の発生状況（図 2～3）

栗駒山を震源とする火山性地震、火山性微動は観測されませんでした。

なお、栗駒山の近傍では、2008 年 6 月 14 日に発生した「平成 20 年（2008 年）岩手・宮城内陸地震」（M7.2）の余震活動が続いています。



図 1 栗駒山 遠望カメラによる映像（7 月 23 日 15 時 00 分頃）
大柳（山頂の南東約 20km）に設置してある遠望カメラからの映像。

この火山活動解説資料は、仙台管区气象台のホームページ（<http://www.jma-net.go.jp/sendai/>）や、気象庁ホームページ（<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>）でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（平成 22 年 8 月分）は平成 22 年 9 月 8 日に発表する予定です。

※資料は、気象庁のデータの他、東北大学、独立行政法人防災科学技術研究所のデータを利用して作成しています。

本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の「数値地図 50m メッシュ（標高）」を使用しています（承認番号 平 20 業使、第 385 号）。

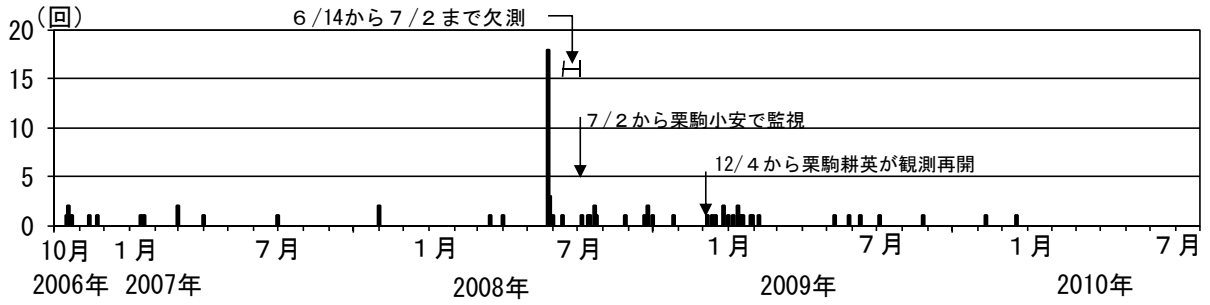


図2 栗駒山 日別地震回数（2006年10月～2010年7月）

2006年10月12日から観測開始。

栗駒山の火山監視用の「栗駒耕英（こうえい）」観測点は、2008年6月14日の「平成20年（2008年）岩手・宮城内陸地震」の影響により観測不能となっていました。12月4日に復旧しました。7月2日18時から山頂の北西約10kmに設置した「栗駒小安（おやす）」と合わせて監視を行っています（図4）。

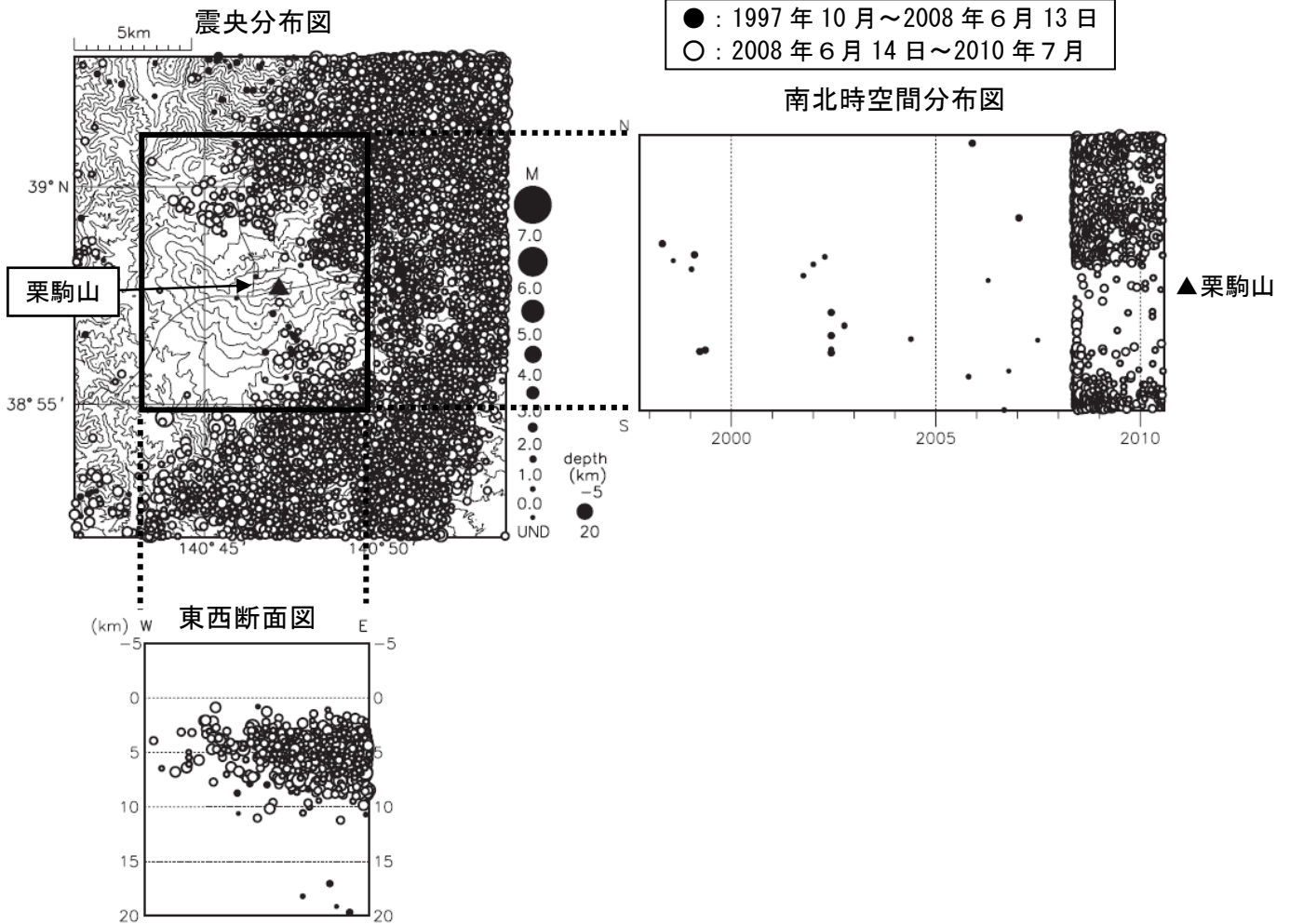


図3※ 栗駒山周辺の地震活動（1997年10月～2010年7月）

注）2001年10月以降、検知能力が向上しています。

M（マグニチュード）は地震の規模を示します。

図中の一部の震源要素は暫定値で、後日変更することがあります。

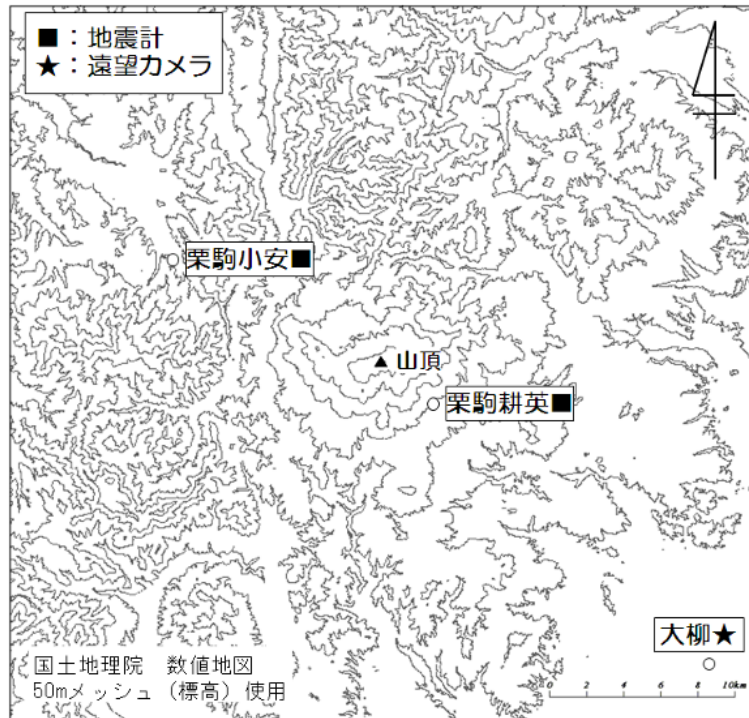


図4 栗駒山 従来の火山観測点名称の観測点配置図
 (小さな白丸は観測点位置を示しています)

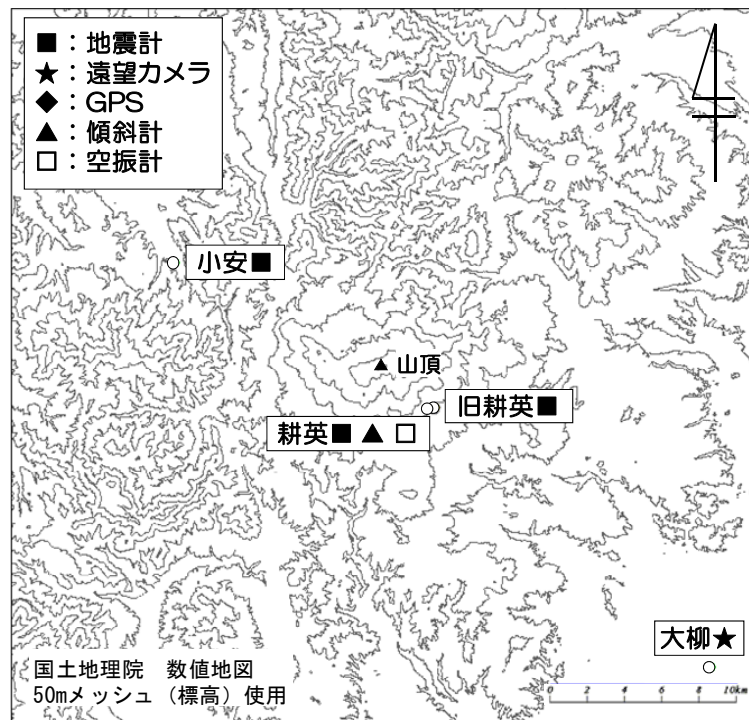


図5 栗駒山 新しい観測点名称を使用した観測点配置図
 (小さな白丸は気象庁観測点位置を示しています。
 また、運用開始前の観測点も含みます。)

気象庁では、2010年8月2日12時より火山観測点の名称を変更しました。
 この観測点配置図では、気象庁の観測点を新しい名称で記載します。
 観測点配置図の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 50mメッシュ (標高)』を使用しています (承認番号: 平 20 業使、第 385 号)。